



日新小だより

<http://www.fuchu22s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和7年10月31日(金)

11月号

府中市立日新小学校

校長 山田 隼土

台湾屏東県視察団との交流を通して

校長 山田隼土

10月17日(金)台湾屏東県の教育視察団による学校訪問がありました。今回の視察の目的が「防災及び食育教育」ということで、日新小学校の防災対策と給食指導の様子を見ていただきました。今回の交流を通して、あらためて日本でに行われていることが当たり前ではなかったということが分かりましたので、その一端を紹介します。

- ① 災害に備えた備蓄の充実…本校では、水害に備え4階に児童や教職員のための備蓄品(水や乾パンなど)を保管しています。また、地震などの災害で避難所になった場合に備え、毛布やトイレ、発電機など様々な物資が防災倉庫に保管されています。このような備えが教育施設にあることは日本のよさであることが分かりました。



防災倉庫の説明

- ② 給食の充実…給食センターで作られた給食が配膳室に届けられ、各教室、そして個人個人に配膳される様子を見て驚かされていました。台湾でも給食はあるようですが、空のお弁当箱を持参して、その容器の中に給食を配膳していくやり方のように、一人一人食器に盛り付けられ食事をすることに、「家庭に近い形での食事の形態がいいですね。」と感想を言われていました。また、この日は「さけのみみじやき」が提供されたのですが、台湾では魚には骨があり喉を傷める可能性があるということ、魚は提供されていないようです。日本の給食センターでは魚の骨を極力除去して提供してくださっ



給食の試食

ているので、とてもありがたいことだと思いました。

- ③ 異学年交流…この日は「わくわくタイム」(異学年交流)の日でしたので、その様子も見ていただきました。縦割り班活動も日本の特別活動のよさです。上級生が下級生を思いやる姿に感心していました。

今回の教育視察団の方との対話により、日本の教育のよさについて再認識することができました。文化や風習の違う人と交流することで、様々な気づきがあり、学びを得ることができます。

この訪問をきっかけに、台湾屏東県とのつながりをもつことができました。今後はこの出会いを生かし、児童間での交流にもつながれたらと考えています。子供たちにも国際交流を通し、たくさんの学びを得てほしいと思っています。



屏東県からの感謝状

☆展覧会鑑賞のしおり(作品の見どころ)

	平 面	立 体
1 年	☆おおきなくちをあけまして 鏡に向かって大きく口を開けて、自分の口の中を観察しました。大きな画用紙を前に鉛筆で下書き、そしてクレヨンを使って、自分の口を思いきり大きく描きました。大きく口をあけた表情では、歯の形が違ったり、歯が抜けていたり一人ひとりの個性が存分に発揮されました。クレヨンの力強い塗り方や背景の絵の具の組み合わせなど、1年生らしい表現の楽しさをお楽しみください。	☆くしゃくしゃぎゅっ クラフト紙を楽しくくしゃくしゃと丸めたり、ぎゅっとしたりして、自分だけの形をつくりました。紙のしわやふくらみが思いがけない表情を生み出して子供たち同士、楽しんで活動しました。できあがった形のまわりには、色とりどりの花紙やモール、折り紙など、様々な素材を使って飾り付けをしました。子供たちが素材の手触りや色の楽しさを存分に味わいながら、カラフルでにぎやかな作品を作りました。一年生の自由な発想とものづくりの楽しさを表現しました。
2 年	☆キラキラシャボンの海 ストローでシャボン液を吹くと、たくさんの泡があふれ出ます!シャボンの泡がはじける前に画用紙にそっと写し取り、自分だけのすてきな海を表現しました。海を泳ぐ生き物にもぜひご注目ください。 ☆たのしくうつして 二年生になって初めて使ったカッターナイフで好きな形を切り抜き、型紙を二種類つくりました。型紙の上に絵具をのせて同じもようをくりかえし描きました。	☆すてきなぼうし 自分の頭の形に合わせてつくった三角帽子に、手で丁寧にのみみ込んでやわらかくした画用紙を刷毛と水のりでぺたぺた貼り付けたら、カラフルな帽子の完成です!お花紙やシールなどで飾り付けて、世界に一つのすてきな帽子をつくりました。
3 年	☆ライトアップ まほうの城 夜空に浮かび上がる、ふしぎな形をしたお城のシルエット…「スパッタリング」という、ブラシと網を使って絵の具を霧状に散らす技法を用いて、まほうのお城を照らす眩いライトを表現しました。 ☆カラフルライン 図工室にあるたくさんのペンを使ってくるくるジグザグいろんな線を画用紙に描いていくと、カラフルで楽しい線の世界が現れました。子供たちが生み出したオリジナルの線もたくさんあります。ぜひお気に入りの線を探してみてください。	☆きーちゃんのひみつきち ギコギコ!トントン! 初めて手にしたのこぎりや金槌、クギを使って自分だけの木の妖精「きーちゃん」をつくりました。様々な形の木材を組み合わせて秘密基地をつくり、ポスカでカラフルに塗ったりビーズを使って飾り付けたり、細部までこだわりながら仕上げました。それぞれの「きーちゃん」の表情の違いや工夫をこらした秘密基地にぜひご注目ください。
4 年	☆おびがみアート 帯のように細長く切った色画用紙を、くるくる丸めてみたりジグザグに折ったり重ねたりすることで生み出されるたくさんの形たち。様々な形を色合いにもこだわりながら台紙に貼り付け、個性あふれる作品に仕上げました。 ☆トントンドット 丸い点の一つずつ画用紙にトントントン…綿棒の先に絵具を付けて小さな丸を画用紙に打っていくと、点がつながって絵やもようが見えてきます。どんな絵が見えてくるか、じっくり見てお楽しみください。	☆おいしそうな和菓子 お団子や大福、まんじゅうや練り切り…紙粘土に絵の具を混ぜ込んで色付きの粘土をつくり、指先やへらを使って本物の和菓子と同じように丁寧に作りあげました。どんな味なのか想像したり、見た目を楽しんだりしながらじっくりご覧ください。 ☆コロコロコースター 厚紙や画用紙を切って貼って、ビー玉がコロコロ転がる楽しいコースターをつくりました。どうしたら思い通りにビー玉が転がるか、コースや角度など何度も試しながら作りあげました。

5 年	☆さくらの木 青空や夕焼けを絵の具で丁寧に描き、木や枝を描きます。筆の代わりに指先を使って、たくさんの花びらをぺたぺたスタンプして、満開の桜の木を表現しました。 ☆グラデーションコラージュ 絵の具を混ぜ合わせて、少しずつ変化していく色合いを表現したグラデーションのもよう紙。様々な柄やもようの紙を切って貼ってコラージュして、色鮮やかに作品を仕上げました。	☆ミラクル!ミラーステージ 鏡の向こう側へと続いていく不思議な世界…鏡に映り込む特徴を生かすにはどうすればいいか?鏡の見え方の変化を利用したり、鏡を空間に広げる装置として扱ったりすることで、不思議な世界をつくりあげました。 ☆立ち上がれワイヤーアート 針金を曲げる、巻く、ねじる、束ねるなど、いろいろ試しながら形をつくり、面白い形を見つけて、立体的に作品をつくりあげました。様々な角度からご覧ください。
6 年	☆マイステンシル カッターナイフで細かく切り抜いた型紙の上からスポンジを使って絵の具をポンポン…型紙を外すと、鮮やかな絵やもようが登場します。構図や色合いにもこだわりながら丁寧に仕上げました。 ☆絵手紙～春夏秋冬～ 季節のおいしいものや楽しい行事など、自分が感じる「日本の四季の良さ」をどんな絵や言葉で伝えるか考え、絵手紙を描きました。絵具で丁寧に色を付けたり、面相筆という細い筆に墨を付けて線をなぞったりして、心を込めて作品を仕上げました。	☆光の形 真っ暗な場所で光を放つ様々な形たち。白の紙バンドを組み合わせる形をつくり、和紙を貼り付け、ランプシェードをつくりました。幻想的な光の形をお楽しみください。 ☆飛び立て宇宙船 銀色の宇宙船の形をよ〜く見ると、ペットボトルやペンのキャップなど身近なものがたくさん発見できます。様々な材料を接着剤で組み合わせ、スプレーで色付けをしてつくりあげました。

わくわくタイム

担当 福田 幸子

10月17日（金）に今年度第4回目のわくわくタイムがありました。わくわくタイムとは、1年生から6年生までの全学年が一緒に活動する縦割り班活動です。6月に初顔合わせをし、少しずつ仲が深まってきているところです。

6年生が主体となり、班ごとに活動を行っています。前回の振り返り時に各グループで次にやりたい遊びを聞き、6年生が担当教員に相談しながら考えた遊びをしています。教室では絵しりとりや黒板リレー、なんでもバスケットで遊び、校庭や体育館では、ふえ鬼、ドッジボールなどで遊びました。

これからも様々な活動を通して、さらに異学年交流を深めていきます。



町たんけん

担当 川和 ゆかり

10月16日（木）に町たんけんに行ってきました。何度か学区域を見て回り、自分たちで改めて行ってみたい、聞いてみたいことなどを出し合い、グループで考えました。インタビューの練習を1・2組合同で練習し、ボランティアの保護者の方々とそれぞれの場所へ行きました。

緊張した様子でしたが、上手に聞くことができました。

学校に戻ってから、聞いたことを早くみんなに伝えたい気持ちでいっぱいでした。

多くの保護者の方々に参加していただき、感謝しております。

